

株式会社丸三電機

確固たる経営理念のもと、高品質と提案力で  
ヒートシンクの新境地を切り開く

電気製品内部の冷却に欠かせないヒートシンク。秋葉原で販社として創業した丸三電機は、エンドユーザーにとつての利便性を追求し、ヒートシンクメーカーへと鮮やかな転身を遂げた。同社を業界上位に押し上げたのは「品質は品格から生まれる」という経営理念だった。

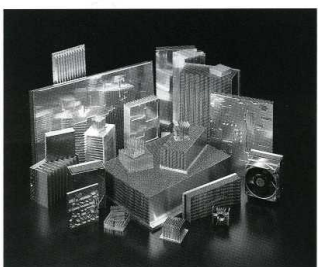
パソコンのような情報機器から大型の産業機械まで、あらゆる電気製品は使用したときに熱が発生する。その熱を放熱し、製品内部を冷却するための機構が「ヒートシンク」だ。

一言で放熱といっても、ヒートシンクのみで熱を逃がす自然空冷から、ファンと一体型の強制空冷、水などを媒体として熱を逃がす水冷（液冷）などさまざまだ。

「熱が出ない半導体素子が発明されたらこの商売はつぶれてしま

販社から一転、  
ノウハウを持たない  
モノづくりの世界へ

丸三電機は、ラジオのツマミなど電子部品の販社として昭和38年（1963）に秋葉原で設立。その4年後には、後に同社の看板とな



高精度・高効率で評価の高い同社のLEX(レックス)ヒートシンク

るヒートシンクの扱いも開始した。

当時、ヒートシンクというのは「品質が悪い、納期がかかる、値段が高い」（竹村社長）の3拍子がそろっていた。販売代理業務を20年以上続けても、この3つは改善されなかった。ならば自分たちで製造してしまおうと、昭和60年にヒートシンクメーカーへ転身。製造ノウハウはなく、手探りのモノづくりがスタートした。

高品質の実現と  
顧客満足の獲得で  
業界有数の地位を獲得

毛呂山工場が本格稼働したのは、

間も増えた。

竹村社長は、こうした変化に対応するため、顧客からの発注を一手に担い、特殊な塗装が必要な場合でも同社ですべてワンストップで対応できるような「トータルマネジメント」を目指す。

「これからは、本業でないことでもお任せいただけるように勉強し、『管理力』を売っていききたい」

経営理念に基づき大まかな戦略はあるが、基本は「単年度ベスト型経営」。年度経営方針を毎年積み上げていくという考え方だ。地道な歩みによって確固たる地位を築いた同社。現在注力しているのは、太陽光発電機器など環境エネルギー関連の製品づくりだが、時代や人が変わろうとも、経営理念を引き継いだその確実な足取りは変わらない。



埼玉県毛呂山町にある埼玉事業所兼埼玉営業所

竹村社長就任から2年目のことだった。ところが、わずか半年で仕入れと生産のバランスが逆転してしまった。慌てて工場へ泊りこんで社員の様子を確かめたところ、「業務のほとんどが、不良品の手直しや選別でした」。

これではいけないと奮起した竹村社長は「品質至上主義」を掲げて改革に着手。そのひとつが、外注先の徹底的な管理だった。年に1回「生産動向説明会」を開催し、納

期順守率、品質データ、受注量などを点数化し、優秀な企業を表彰した。ここで成績のいい企業は自ずと注文が増える、という協力実績比例方式も採用した。不良品も、発生率ではなく件数で計算し、「たくさんつくれば不良品が出て当たり前」という風潮を打破した。

ISOも活用した。平成13年から15年にかけて、9002、14001、9001を全社一括で立て続ける取得。以降、ISOの品質目標と自社の年度経営方針を一致させ、現場もそれに基づいて目標を立てている。

「今までの経験を生かして、是正処置ではなく予防処置を行う。こうした複合的な取り組みが高品質をつくりあげてきたのだと思います」

もうひとつ、他社との差別化ともなっているのが、顧客に寄り添ったサービスだ。見積もりでは、独自のノウハウで軽量化や不良部分の軽減が可能な設計を提案。「今まではこういう提案はなかった」と、顧客満足度を獲得していた。こうした取り組みが、同社を業界上位へと導いたのである。



代表取締役社長  
竹村元秀氏

- 社長 竹村元秀氏
- 設立 昭和38年(1963)7月
- 資本金 70百万円
- 従業員数 50名
- 事業内容 電機・電子機器用部品の製造および販売
- 所在地 〒101-0021 東京都千代田区外神田3-9-2 末広ビル2F  
TEL 03-3253-0411  
FAX 03-3253-1935  
URL <http://www.lex.co.jp/>
- 取引店 りそな銀行神田支店